

# 国体推進部 成果報告

国体推進部長 松山 雄二

## 部局達成度

			
-	2	-	-

## 総括

国体・障スポ開催に必要な準備を進めるため、競技団体はじめ、関係機関・団体と連携し、開催推進総合計画及び年次計画に沿った計画や実施要項を策定しました。

また、全庁的な取組を推進するため庁内推進本部会議を開催し、関係部局相互の連携を図るとともに、競技会を円滑に運営するため実施本部会議を開催し、国体・障スポの準備を進めました。

さらに、今年度は、競技会運営能力の向上、機運醸成を目的として競技別プレ大会を 14 競技 15 種目で開催しました。

来年度に開催される国体・障スポでは、プレ大会での経験を活かし、競技団体等と連携し、効率的な大会運営に努めるとともに、「国体と障スポの融合」推進への取組を進めていきます。

あわせて、多くの市民に花いっぱい運動、クリーンアップ、競技観戦などへ参加いただくことで、一緒に国体・障スポを盛り上げ、全ての人々の記憶に残る国体・障スポを目指していきます。

## 組織目標ごとの達成状況

- ・国体・障スポについて、積極的に広報啓発を行い、機運を醸成するとともに、市民の参加意識向上に取り組みます

国体・障スポに向けて機運を醸成するため、国体ホームページ、SNS、広報紙などを活用し情報発信を行ったほか、各種イベントに参加して国体・障スポをPRするなど、広報啓発活動を行いました。

また、花いっぱい運動、ボランティア、競技観戦などへの市民参加を推進するため、10月1日から福井市独自の取組である「福福応援団」の募集を開始しました。

今後も、市民に「福福応援団」への参加を呼びかけるほか、「明るい笑顔とあいさつで対応する」、「交通マナーの向上に努め、歩行者にやさしい福井市を目指す」、「地域の清掃活動に積極的に参加する」など、誰もが気軽に参加できる取組を推進するなど、一人でも多くの市民の国体・障スポへの参加意識向上に取り組みます。

**. 本市で開催される競技会について、安全で快適な環境を整備し、円滑な運営ができるよう準備業務に取り組みます**

福井しあわせ元気国体において、本市で開催される競技会の円滑な運営を期するため、各種計画や要項等の作成を行い、専門委員会において決定事項を報告しました。

来年度は、国体・障スポの本番を迎えることから、各種計画や要項等に基づきながら、また、プレ大会の経験も活かすとともに関係機関・団体等と連携し、安全で快適な環境整備を行い、円滑な運営ができるよう万全の体制を整えていきます。

- ・国体・障スポについて、積極的に広報啓発を行い、機運を醸成するとともに、市民の参加意識向上に取り組みます

1	国体・障スポの広報啓発、機運醸成、市民参加の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	ホームページ、SNS、広報紙などを活用した情報発信、市主催のイベントへの参加、デモスポ、障害者スポーツ体験会やカウントダウンイベントの開催など、障スポの周知も含めた広報啓発を行い、機運醸成を図るとともに、ボランティアや花いっぱい運動などへの障がい者も含めた市民参加を推進します。		
取 組 内 容	<p>常任委員会・総会の開催          庁内推進本部会議、実施本部会議及び幹事会の開催          プレ大会におけるボランティア活動（10競技 活動者数：延べ522人）          プレ大会におけるおもてなしの実施          ・花プランターの育成（1,000基）          ・手作り応援のぼり旗の制作（141枚）          ・おもてなし料理のふるまい（3会場）          福福応援団の募集          ポスターコンクールの実施（小中学校、特別支援学校）及び展示会の開催（6会場）          ホームページ、SNS、広報ふくい（毎月10日号）などを活用した情報発信          競技体験・啓発事業の実施          ・カウントダウンイベントの開催（3回）          ・市主催イベント、各地区、学校行事等への参加等（49回）          ・はびねすダンス・体操・音頭講習会（4回）          ・市政出前講座（2回）          ・デモスポ体験会（1回）          ・ショッピングセンター等での広報活動（6回）</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
競技体験・啓発事業の実施 : 60回 国体ボランティア登録者数 : 1,000人 花いっぱい運動参加団体数 : 50団体 手作り記念品製作数 : 7,500個	競技体験・啓発事業の実施 : 65回 国体ボランティア登録者数 : 1,190人 花いっぱい運動参加団体数 : 57団体 手作り記念品製作数 : 10,000個		
成 果 ・ 課 題	<p>各種イベントに参加し、広報啓発を行ったほか、「デモスポ体験会」や「国体・障スポ開催1年前カウントダウンイベント」を開催し、機運醸成を図りました。</p> <p>特に、「国体・障スポ開催1年前カウントダウンイベント」では、はびねすダンスコンテストへの障がい者の参加、障がい者スポーツ体験会の実施、障がい者スポーツの紹介パネル展示などにより障がい者スポーツの周知に努めました。</p> <p>また、学校、団体、自治会等へボランティア登録、花プランターの育成を依頼したことにより、ボランティア登録者、花いっぱい運動参加団体数の目標を達成することができました。</p> <p>来年度は、多くの市民の観戦応援が選手の力になり、国体・障スポの盛り上げにつながることから、本市開催競技の情報発信や競技観戦などに取り組んでいきます。あわせて、イベントの開催や誰もが参加しやすい市民運動を推進することで、さらなる機運醸成を図っていきます。</p>		

・本市で開催される競技会について、安全で快適な環境を整備し、円滑な運営ができるよう準備業務に取り組みます

2	円滑な競技会運営準備の推進と競技別プレ大会の実施	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	国体では 14 競技、全国障害者スポーツ大会では 4 競技の競技会を円滑に実施するため、開催推進総合計画に沿った計画や実施要項を策定します。また、6 月から 11 月にかけて競技別プレ大会 14 競技 15 種目を開催し、終了後には課題の整理と改善を行ったうえで、国体の準備を進めるとともに、国体と障スポの融合を推進します。		
取 組 内 容	<p>プレ大会の開催（6 月～11 月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・14 競技 15 種目</li> <li>（剣道、テニス、ソフトテニス、ハンドボール、バスケットボール、柔道、アーチェリー、自転車、陸上競技、ソフトボール、高校野球（硬式）、ライフル射撃（CP、CP 以外）、ボウリング、ボクシング）</li> </ul> <p>実績合計数（延べ数）：74,031 人</p> <p>【内訳 一般観戦者：39,220 人、選手・監督等：19,609 人、競技役員：4,698 人、競技補助員（高校生等）：3,089 人、競技会補助員（ボランティア）：522 人、その他：6,893 人】</p> <p>各種国体関連調査の県報告 （競技役員編成、競技補助員編成、記録業務等） 競技式典専門委員会の開催 宿泊衛生専門委員会の開催 各種計画の策定及び各種要項の作成</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>プレ大会開催 : 14 競技 15 種目</p> <p>各種計画の策定 : 4 件 救護所設置計画、輸送計画等、消防警備計画、警備員配置計画</p> <p>各種要項の作成 : 4 件 競技別実施要項、組合せ抽選会実施要項、デモスポ実施要項、式典実施要項</p>	<p>プレ大会の開催 : 14 競技 15 種目</p> <p>各種計画の策定 : 4 件 救護所設置計画、輸送計画等、消防警備計画、警備員配置計画</p> <p>各種要項の作成 : 4 件 競技別実施要項、組合せ抽選会実施要項、デモスポ実施要項、式典実施要項</p>		
成 果 ・ 課 題	<p>競技別プレ大会では 14 競技 15 種目を開催し、一部の競技において台風等の影響により、日程等の変更がありましたが、選手・監督と一般観戦者の動線や運営ボランティア、市職員の業務内容等の確認をすることができ、全体的には円滑な運営ができました。</p> <p>競技終了後には、各競技会場において従事した運営ボランティアや市職員に対し、国体に向けて改善すべき点や意見、感想などのアンケート調査を実施しました。今後、これらの結果を参考に各競技団体や関係機関と調整を進め、国体に向けて万全の体制を整えていきます。</p> <p>また、障スポが国体期間中や国体終了 4 日後に開催されることから、会場設営や選手・監督等の動線など、早急な転換が求められています。このため一体的な運営が必要となることから、県や各競技団体等と連携し、国体と障スポの融合に向け、準備を進めます。</p>		